討議資料

Hyogo大好き!

7号
2020年
春号

兵庫県議会議員
相崎 佐和子

県政活動ニュース

topics

▶臨時特集　新型コロナウイルス感染症
～兵庫県がすべきこと、できること～

▶予算委員会
～県の財政と施策を審議～

●「第26回 サワコの茶話会」やります!

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延しており、伊丹市では市内の介護老人保健施設で患者集団（クラスター）が把握されています。

学校園の一斉休業・イベント等の延期や中止・勤務体系の変化等による収入減・売上減少による経営悪化・・・私たちの生活や地域経済に大きな影響が及んでいます。

皆さんにおかれては、不安や懸念を抱いておられたり、実際に影響を受けてお困りだったりのことかと存じます。

■兵庫県がすべきこと

兵庫県は、迅速かつ適切に対策を講じて、県民生活と地域経済を立て直さなければなりません。

具体的に以下を取り組むべきであり、至らない点は声を上げます。

【感染拡大の防止】

・クラスター解消と第2次感染の封じ込め
・検査体制の強化
・医療体制の確保
・マスク等衛生用品の確保と供給
・県民への情報発信の充実

【生活と事業への支援】

・教育（学校園の再開対策・社会教育施設の対応・子どもの心身のサポート・長期休業による学習遅延のフォローアップ・・・）
・経済（休業補償・生活給付金支給・事業者への資金繰り対応・雇用対策・飲食観光宿泊業への支援・・・）
・福祉（高齢者施設や障がい者施設等の支援・・・）

■県議会議員がすべきこと

行政は現場の状況を的確に把握した上で対策を講じなければなりません。

そして県議会議員としては、現場の声をお聞きして県に届けることが大きな役割だと捉えています。

①現場の声をお聞きする

県議会議員としてまずは皆さんの状況やご意見をお聞きしたいです。何に困っているのか、どうすればよいと思っておられるのか・・・

これまでもSNSなどで“ご意見をお聞かせください”と投げかけて様々にお声を頂戴していますが、これから一層必要になります。

私たちの状況と要望を的確に把握させていただくため、お声をお聞かせください。

②県に私たちの声を届ける

そして、お聞かせいただいた“私たちの声”を県政に届けます。SNSなどで頂戴したお声は、3月上旬での予算委員会で県に問いただしました。これからもこのような活動が必要です。しっかり力強く発信します。

一刻も早い終息を願い、大混乱している私たちの生活と経済を立て直すことに、全力を挙げて取り組んでまいります。

※コロナ関係の情報提供として「Hyogo大好き!」臨時号を随時発行しています。合わせてご覧ください。
※この記載は、4月上旬時点でのコメントです。

SNS（インターネットを活用して社会的な繋がりを提供するサービス）などで「ご意見をお聞かせください」とお呼びかけし、様々なお声をいただいています。

また、福祉・医療・教育関係の団体や飲食・小売業などにヒアリングして（業務の迷惑にならない範囲で）、現場の課題などをお聴きしています。それらのご意見を予算委員会などで兵庫県庁に届けると同時に、皆さんにお知らせします。

Q：マスクが不足しています！

日々の生活にリアルに影響する事であり、このご意見は多くいただきます。

医療現場では、医療用マスクはもちろんスタッフ用などの不織布マスクが不足、また消毒液が不足し、福祉現場では、特に中小規模施設で不足しています。

国では、布製マスクを一住所に2枚配布とのこと。一方で、兵庫県では、３月中旬に国から医療用マスク70万枚を確保し、感染患者受け入れ病院や備蓄が乏しい病院を中心に配布しました。不織布マスクは、兵庫県で備蓄の２万枚について予算委員会で問うと「現段階で配布の予定はない」との答弁。

優先順位などを考慮しながら、備蓄マスクの活用を含め、マスクの確保と供給を兵庫県に求めます。

Q：検査体制は万全なの？

「本当はもっと感染しているのでは？」との不安のお声をいただきます。

兵庫県庁の説明では、新型コロナウイルス感染症は短時間で感染を確認できる簡易検査キットがないため、感染の可能性が高い方（対象者の症状・患者との接職歴・基礎疾患などから判断）を優先してPCR検査を行っているとのこと。

一方で、日本医師会は、医師が必要と診断したにもかかわらず保健所で検査が断られた不適切事案があると指摘しています。

兵庫県に対して、「検査難民」の解消とともに、さらなる感染拡大を視野に入れ、医療機関の検査体制の充実を図るよう求めます。

Q：病床数は確保できているの？

医療崩壊がおきるのではないか、とのご心配の声も多くいただきます。

兵庫県の説明では、病床数について、当初の感染症専用病床54床に加え、一般病床でも入院対応できるよう重症化対策や感染症予防策が行われている病床を246床確保し、さらに500床まで増加させる方向です。また「新型コロナウイルス入院コーディネーターセンター」を設置し、入院患者数や入院可能病床の情報を一元管理し、重症度合に応じた入院調整をしています。

兵庫県に対して、現在のところ無症状感染者・軽症者は病院に入院していますが今後は自宅／指定施設で健康観察とするなど、病床を重症者に優先的に割り当てることで、医療崩壊を未然に防ぐよう求めます。

Q：事業者への県の支援策は？

中小企業・小規模事業者・飲食店などをヒアリングすると、「売り上げが半分以下に落ちた」「宴会予約は全てキャンセル」など悲鳴に近いお声ばかり。

このままでは事業を継続できないところも出現するでしょう。早急な資金繰りの支援が必要です。

兵庫県では、新型コロナウイルス対応の各種貸付を実施しています。また融資制度取扱金融機関に返済緩和の条件変更等の弾力的運用を要請したり、県内信用金庫に制度融資の積極的活用を依頼しています。加えて、雇用調整助成金にもコロナ特例を設けています。

国に対して、自粛要請に伴う損失補償や休業補償を求めています。

４面の相談窓口をご活用ください。

Q：県は対策経費を追加しているの？

２月に約４億円（入院医療体制の強化など）、３月に約28億円（介護施設や保育所などへのマスク購入費補助、中小企業向け制度融資の拡充、入院医療体制の充実など）の補正予算を県議会で採決しました。ただし、これらは応急措置にすぎません。

地方自治体は赤字地方債を発行できない（地方財政法５条）ので、国のコロナ対策の補正予算を待たねばなりません。４月下旬の成立が予想されるところ、これを受けて兵庫県でも補正予算を編成し、感染拡大防止と生活と事業への支援を最優先に取り組みます。

※この記載は４月上旬時点でのものです。

予算委員会　～県の財政と施策を審議～

次年度の税金の使途・今後の財政のあり方などを審査する「予算特別委員会」。
県議会ではじめて予算委員会に入り、様々な課題を追及しました。

予算委員会の流れ

質問の担当部署と時間配分を決める（時間は会派人数によって割り当て）
↓
質問する項目を決める（他議員との重複はNG。かなりの調整あり）
↓
各部署と打ち合わせする→質問原稿を提出する（県議会は原稿提出が必須）
↓
本番（答弁は本番まで不明。2回目以降の発言や再質問で議員の技量が問われる）

相崎の質問内容

■財政

1　財政フレームにおける下方修正
2　県税収入における当初予算額と実績額の乖離

→行財政改革は一定の成果を出したものの県財政は未だ厳しく、今後の財政見通し（財政フレーム）も甘いことを指摘。
コロナの影響も鑑み、新規ビッグプロジェクト（大型アリーナ建設・但馬空港滑走路延長など）は慎重な検討を進言。

■企画県民部

1　男性育休の取得率向上

→向上を進める決意を確認するとともに、県がリーダーシップをとって県内取得率を向上させることを要望。

2　県広報の充実
（1）新たな地域創生における戦略的な広報
（2）U5H（兵庫五国連邦プロジェクト）の今後の展開
（3）広報紙配布における市町との連携

→総花的でなく戦略的効果的な広報の展開、プロジェクトの推進を要望し、広報紙配布における経費削減策を提案

■健康福祉部

1　新型コロナウイルス感染症の対策
（1）十分な検査体制
（2）マスクの支給支援

→この時点で優先度が高い対策を追及。答弁は新聞に掲載。

2　養親希望者手数料負担軽減事業の導入

→経費が一定のハードルとされる特別養子縁組について金銭的な面での支援を提案。

3　地域医療構想実現に向けた基金等の活用

→病院を統廃合する場合、国県からの経費的サポート（医療介護推進基金等）が確実に活用できるよう後押し。

■公安委員会

1　信号灯器のLED化

→進捗率が全国ワースト4位である県内の信号灯器LED化について、推進を経費削減の観点から追及。

■農政環境部

1　県産特産品のブランド化に向けた支援
（1）発掘・育成・販路拡大
（2）地理的表示（GI）の活用促進

→県産農産物のブランド化の推進方策を確認し、GI活用を提案。

2　営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）の導入支援

→農業と太陽光発電を同時に行うソーラーシェアリングの導入支援を提案。

■県土整備部

1　大阪国際（伊丹）空港の今後
（1）国際線就航
（2）低騒音機の導入

→県における伊丹空港の考え方を確認し、着陸料の差別化をインセンティブとした低騒音機導入の促進を進言。

2　用地取得における事業の効率化

→行財政改革で職員数を3割カットしたことによる、現場の影響と対策を確認。

※産業労働部・教育委員会・企業庁・病院局は、今回相崎は担当外

私たちの声が届いた　～学校再開の延長～

４月３日（金）、兵庫県は県立学校を、伊丹市は市立学校園を再開することを発表。

これに対し、県民市民から心配や不安の声が噴出しました。私も多くのご意見を頂戴しました。

ごもっともなお声であり、私個人もこの状況で再開は厳しいとの判断にいたるところでした。

私たちの声を強く届けねばならない。

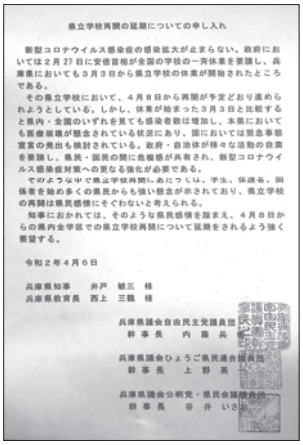
そこで県議会３会派で「県立学校再開の延期についての申し入れ」を緊急実施しました。

結局、県立学校（1～４学区）・伊丹市立学校園は再開が延長されることになりました。多くの県民市民の声が、政治に届いたのだと捉えています。

一方で、仕事との兼ね合いなどから再開を望むお声も一定お聞きしました。現実的にお困りの状況であり、こちらも深く理解させていただくところです。

“命を守る”ことを最優先として感染拡大防止に全力を尽くすとともに、生活や経済の支援をいっそう強く訴えてまいります。

※この記載は４月６日（月）のものです



県立学校再開の延期についての申し入れ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が止まらない。政府においては２月27日に安倍首相が全国の学校の一斉休業を要請し、兵庫県においても３月３日から県立学校の休業が開始されたところである。

その県立学校において、４月８日から再開が予定どおり進められようとしている。しかし、休業が始まった３月３日と比較すると県内・全国のいずれを見ても感染者数は増加し、本県においても医療崩壊が懸念されている状況にあり、国においては緊急事態宣言の発出も検討されている。政府・自治体が様々な活動の自粛を要請し、県民・国民の間に危機感が共有され、新型コロナウイルス感染症対策への更なる強化が必要である。

そのような中で県立学校再開に、あたっては、学生、保護者、関係者を始め多くの県民からも強い懸念が示されており、県立学校の再開は県民感情にそぐわないと考えられる。

知事におかれては、そのような県民感情を踏まえ、４月８日からの県内全学区での県立学校再開について延期をされるよう強く要望する。

令和２年４月６日

兵庫県知事　井戸　敏三　様
兵庫県教育長　西上　三鶴　様

兵庫県議会自由民主党議員団
幹事長　内藤　兵

兵庫県議会ひょうご県民連合議員団
幹事長　上野　英

兵庫県議会公明党・県民会議議員団
幹事長　谷井　いさ

新型コロナウイルス感染症　相談窓口

総合相談	兵庫県コールセンター		(078) 362−9980	●24時間受付　専用ダイヤル
健康に関する相談	伊丹市健康福祉事務所		(072) 785−9437	●平日９時～17時30分
	兵庫県疾病対策課		(090) 3265−8583	●休日及び夜間
事業に関する相談	○経営全般に関する事	ひょうご・神戸経営相談センター	(078) 977−9079	●平日９時～17時
		県の融資▶兵庫県産業労働部地域金融室	(078) 362−3321	●平日９時～17時30分
		政府系金融機関の融資▶日本政策金融公庫	(0120) 154−505 (0120) 327−790	●平日 ●土日祝
	○地域への相談	伊丹市商工労働課	(072) 784−8047	
		伊丹商工会議所	(072) 775−1221	●平日8時45分～17時30分 土日祝も実施
教育に関する相談	○こどもに関する事▶ひょうごっ子相談 24時間ホットライン		(0120) 078−310	
	○休校にともなう保護者の休業補償コールセンター（厚生労働省）		(0120) 603−999	●9時～21時

第26回　サワコの茶話会

●日時：2020年６月21日（日）14:00～16:00
●場所：東りいたみホール　３階　大会議室
●申込：お名前&連絡先をメール・電話・ファックスなどで（連絡先は下記）

※新型コロナウイルス感染症の状況により、延期させていただく可能性があります。

～Profile～

●1973年３月生
●親和女子高校　●奈良教育大学　●〃大学院（政治学ゼミ）
●ORIXブルーウエーブ マスコットガール
●地元ケーブルテレビ（現：ベイコム）アナウンサー
●第12代兵庫県広報専門員
●伊丹市議会議員（3期）　●第61代 伊丹市議会議長
●阪神市議会議長会 会長
●兵庫県議会議員（１期目）
●ローカルマニフェスト推進連盟 共同代表
●出産議員ネットワーク　関西代表
●第11回マニフェスト大賞優秀賞　受賞
○小学校・中学校（社会）・高校（地理歴史）教員免許
○家族：夫・長女（中3）・次女（小5）

情報はここから

★ホームページ▶http://sawako-aizaki.com
★ブログ▶https://sawako-aizaki.hatenablog.com/
★Facebook▶
https://ja-jp.facebook.com/sawako.aizaki
★ツイッター　★インスタグラム

活動ニュース　バックナンバーは上記HPに。郵送希望はご連絡を

連絡先

発行元：相崎佐和子
伊丹市西台２−５−11松屋ビル２階
電　話▶(072) 768-9260
ＦＡＸ▶(072) 768-9261
メール▶sawako.aizaki@gmail.com